

Hello! FUJISEI

No. 194

今シーズンもインフルエンザが猛威をふるっています。

厚生労働省が毎週発表する「インフルエンザの発生状況」によると、2013/2014年シーズンの定点当たり報告数は2013年第43週以降増加が続いています。2014年第4週（1/20-1/26）の定点当たり報告数は24.81（患者報告数122,618）となり、前週の11.78よりも倍増しました。都道府県別では沖縄県54.12、大分県39.62、宮崎県37.86、佐賀県34.79、埼玉県33.69、長崎県32.47、福岡県32.19、神奈川県31.52、滋賀県31.32、千葉県30.08の順となり、全47都道府県で増加し、休校39、学年閉鎖568、学級閉鎖2,402となっています。

全国の保健所地域で警報レベルを超えているのは146箇所（33都府県）、注意報レベルを超えている保健所地域は317箇所（46都道府県）と共に増加しています。

定点医療機関からの報告をもとに、定点以外を含む全

インフルエンザが猛威！

早めに診察を受けて 十分な睡眠・休養を

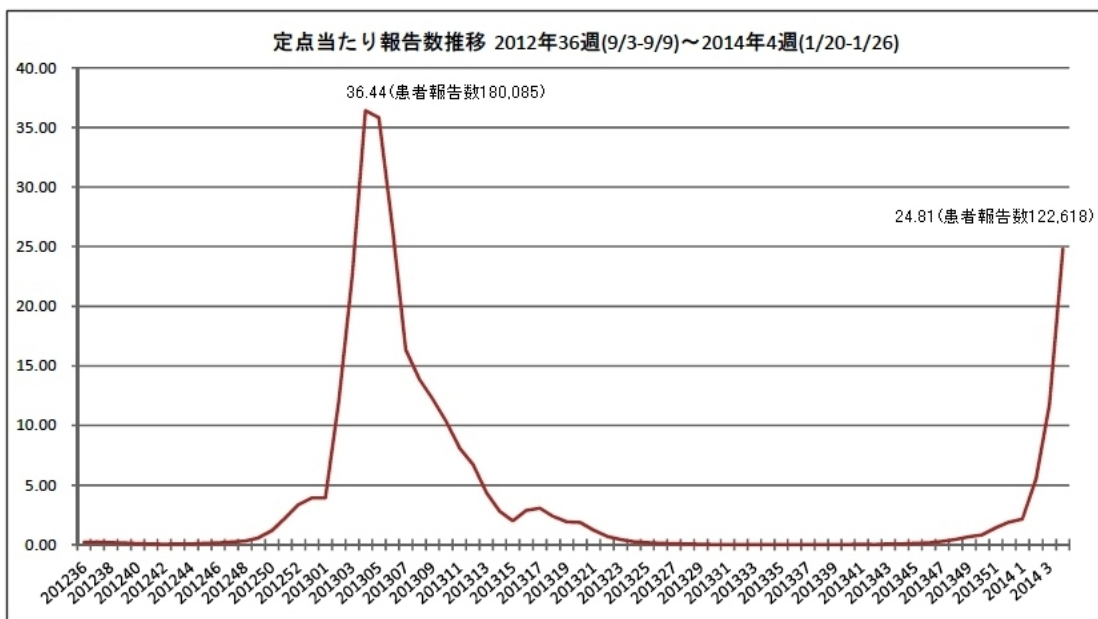
国の医療機関をこの1週間に受診した患者数を推計すると約132万人（95%信頼区間：121～144万人）となります。年齢階層別では、5～9歳が約29万人、0～4歳が約18万人、10～14歳、30代がそれぞれ約17万人、40代が約14万人、20代が約12万人、50代が約8万人、15～19歳が約7万人、

60代が約6万人、70歳以上が約4万人の順となっています。また、2013年第36週以降これまでの累積の推計受診者数は約275万人となりました。

昨シーズンは2013年第4週（1/21-1/27）の36.44（180,085）をピークに減少に転じましたが、まだまだ油断できない状況が続きます。

インフルエンザにかかったら…

- 具合が悪ければ早めに医療機関を受診しましょう。
- 安静にして、休養をとりましょう。特に、睡眠を十分にとることが大切です。
- 水分を十分に補給しましょう。
- 咳やくしゃみ等の症状のある時は、周りの方へうつさないために、不織布製マスクを着用しましょう。
- 人混みや繁華街への外出を控え、無理をして学校や職場等に行かないようにしましょう。



厚生労働省「インフルエンザの発生状況」